

## あっとニューヨーク ～ 社訓 20ヶ条

あくまでも仕事をするために会社に来ているということ。それを忘れてはいけません。以下にはたくさんの義務があげられていますが、社会人としてあたりまえのことです。以下は、よりよい組織、よりよい労働環境を作るためにみなさんで理解し実行してください。

- 1. 守秘義務：** 社外持ち出し禁止。会社内の話を外に持ち出さないこと。言っていることと悪いことの区別をつける。
- 2. 2回までの原則：** 上司に対して意見をはっきりどんどん言うこと。上司の理解を得られなくても、信じることは何度でも説得する気持ちで打ち明けること。ただし、2回Noを言われたのなら、それ以上は無理に上司を説得することはやめて上司の言葉は会社だと思ってその指示にしたがうこと。上司は2回までは部下の話をちゃんとはっきり聞くようにする。同僚同士の場合は人間尊重の上でお互いで話し合いを持つ。分からなければ上司に聞くこと。
- 3. 終了報告の義務：** 上司は部下に何かの仕事を依頼するとします。上司は一度仕事を依頼したらば、その後は部下に依頼したことをすぐに忘れることもあります。ですから部下は上司に仕事が終わったという報告、もしくは経過報告をすることを義務としてください。それができるようになれば、上司は安心して仕事を割り振りができます。報告をちゃんとするということが分かれば、つまり、ちゃんと仕事ができると判断できれば、上司は部下から随一終了報告を聞くという過程もなくなるはずで、そこで一人前になったということがいえます。
- 4. 存在意義：** 最初に、上司が仕事がたくさんあって手一杯。これ以上一人でできない状態にあります。そこで、みなさんにはその上司を助けるために会社に来てもらいました。ですから、まずは上司のために働く、上司を助けて喜ばせてください。それがあなたの仕事です。同時に会社のためにもなり、まわりまわって自分のためになります。最後に自分の仕事が増えて手一杯になることによって手助けしてくれる部下を得、次は自分が上司の立場になる、ということです。この循環で会社は拡大します。
- 5. 行動主義：** なにはともあれ自らの手を動かし、汗して働いてください。そこではじめて人は成長します。会社の一員になるということは評論家になることなく実務家になるということです。
- 6. 仕事の創造まで：** まずは与えられた仕事を先にこなすこと。与えられた仕事もこなせなければその先はないものと同じです。次に余裕や時間ができるようになってから、自分で仕事を創る(新しい仕事を探す開拓する)というステップに移行してください。
- 7. 顧客サービスの倫理：** サービス＝仕えること。社会やお客様の役に立つ人になる。カスタマーサービスとは、お客様第一主義が原則。徹底する。感謝する気持ちで。
- 8. カテゴリー首位：** どの分野に進出しても、どの分野で営業したとしても、やる以上は一番を目指す気持ちで、プロの意識で、やる。手を抜かない。勝っても兜の緒を締めて緩まない。
- 9. 笑顔で生きる：** 笑うかどには福来る、です。どんな局面でも笑っていれば大丈夫です。乗り越えていけます。
- 10. 責任感とは：** 仕事とは自分に責任を持つことだと思います。どれだけ時間や労力がかかろうとも仕事を終わらせること。最後までやる、ということが責任を果たす、ということです。そうやって信用を積み上げることが出来ます。この社訓の中では最も重要なことだと覚えておいてください。
- 11. 目標の設定・評価：** 目指す数字を設定してください。成績を測定し評価し問題があれば修正してさらに新たな高い目標を掲げてください。毎日、毎週、毎年、長期の仕事とか、人生の目標を明確にしてください、人も会社もそれを糧に成長します。
- 12. 業務フロー：** 目標⇒計画⇒実行。必ず目標を立てる。目標を掲げたら次にそれをどう達成できるかを考えます。だんだんや計画を立てるわけです。計画ができたなら9割は成ったようなものです。あとは実行します。実行する際にはうだうだせず、積極ある行動力でサッとやっつけてください。

**13. 出勤時間：** 始業開始時間の10分前迄には出社する。通勤時の交通事情等も考慮して余裕を持って自宅を出る。何らかの理由により遅刻する場合は、始業時刻10分前までには上司に連絡する。

**14. 整頓と清掃義務：** 自分の机、机まわり、PCは自分できれいに整理整頓してください。清掃をいつでもちゃんとしてください。指紋などが机やモニターにないようにピカピカにしてください。チリなど落ちていたら手でとってゴミ箱に捨ててください。新人教育の一環として、共有スペースの清掃は新入社員の仕事となります。終了時、清掃します。スタッフ全員のゴミ箱をきれいに捨ててください。レセプションエリアはお客様の目につきますので毎日きれいにしてください。チリなどは手で拾ってください。週に一度は掃除機をかけてください。

**15. 感謝の積重ね・関係性：** お客様には常に感謝。同僚にも感謝。仕事があることに感謝。人から仕事をいただいているという気持ちを忘れない。また、人に仕事をしてもらっているという気持ちを忘れない。逆に、「してやっている」、または、「させている」、「やらせている」、のような気持ちでは駄目です。よい関係は築けません。

**16. チームワークの義務：** 会社は組織です。組織力は人材の総力、合計値です。たとえ一部にスーパーマンがいても逆に組織を駄目にする場合もあります。みんな一丸となって同じ方向を目指すことが大切です。

**17. 時流の意識：** 社会は常に進歩しています。同じところに留まらずわたしたちも時代を読む目を持たなければなりません。会社の体制も、商品も、マーケティングも時流にかなうものにしなければなりません。そのためには古いものを壊さなければならない、そのような時もあるでしょう。旧来の方法が一番良い、という考えは捨てて、新しいことに挑戦できる風土をつくり、一歩先を見て行動してください。

**18. 言葉の心理・挑戦者の意識：** 「できません」という言葉を使わないこと。「できません」という言葉は本当に無能な人の言葉だと思います。その言葉は勢いを止めます。流れを阻止します。「できないことをどうやったらできるか」、それを考えて答えを見つけることに意味があります。できないことをできるようにしないと他者(他社)とは差が出ないのです。

**19. 修羅の意識：** 人生において修羅場があるように、仕事や会社においても乗り越えなければならない大きな壁や障害があるはずです。ここで人の真価が問われます。決まります。逃げない。負けない。最後まで対峙してください。それをひとつひとつ乗り越えていくことで人は成長することができます。地に足が付き自信を持つ人になれます。前をふさぐ大きな壁などバタンバタン薙ぎ倒すくらいの気持ちで前進しなければなりません。

**20. 失敗は良し、2度目の失敗は許されない、の原則：** 人は何度も言われたくはないものです。だから問題や失敗を指摘する叱る側もよい気分ではありません。みんなは一回言われたら絶対に同じことで何度も怒られないようにしっかり業務を覚えなければなりません。一度失敗したら二度と同じ轍をふまないように肝に銘じることが大切です。俺だったら二度と同じことを言わせないようにやります。また、失敗を恐れずに挑戦してください。失敗しないように生きることはチャレンジしていない、ということと同義です。分かることや知っていること、やったことがあることしかできなかったら失敗する心配はないでしょう。ですが、人としての成長はありえません。新しいことにどんどん挑戦してください。既存の会社になってはいけません。既成概念にとらわれない仕事をしてください。誰でもはじめてのことは失敗の方が多いです。失敗しても良し。どんどん失敗してください。だけれども同じことで失敗は2度と繰り返さないようにしなければいけません。2度も同じことで叱られてはいけません。同じ轍は二度と踏まないこと。学べない人は恥ずかしいです。